

# アット東京の サステナビリティ

2022年度版(2023年発行)



# 安心のうらに、地球への心を。

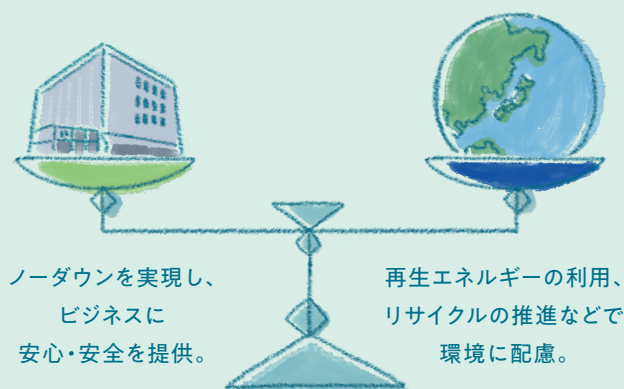
わたしたちアット東京は、データセンター。

サービスレベルを維持し、ノーダウンで運営しながら

ビジネスの安心・安全をお約束する事業です。

日々大量のエネルギーを消費し、さまざまな設備を運用しながら

常に環境への高い意識を持ち続けています。



アット東京は、環境配慮型データセンターを目指しています。

## 地球温暖化対策において、DC3がトップレベル事業所の認定を更新

東京都では、地球温暖化対策の推進の程度が特に優れた事業所を、トップレベル事業所として認定しています。

アット東京の第3センター（DC3）は2017年度に認定を取得し、今回の更新においてもトップレベル事業所の認定を再度取得することができました。サーバールームの運用や設備増強などをノーダウンで行うと同時に、設備の更新など省エネのための取り組みを推進してきた結果、「地球温暖化対策の推進の程度が特に優れた事業所（優良特定地球温暖化対策事業所）」として「知事が定める基準」に適合すると認められました。

アット東京は今後もノーダウンの運用を続けながら、省エネ対策を確実に実施していきます。



トップレベル事業所認定 関係者



## 冷却水の再利用を推進することで、水の消費量を削減

大量のエネルギーを消費するデータセンター。アット東京はデータセンター事業者として、さまざまな省エネの工夫を積み重ねています。そのひとつがサーバー室で発生した熱の

処理に用いる冷却水の再利用による、水の消費量削減です。2022年度は、本来廃棄されるはずの冷却水(ブロー水)を、合計16,645m<sup>3</sup>、43.2%再利用することに成功しました。

### 2022年度 ブロー水再利用率

	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
ブロー水	7,388m <sup>3</sup>	11,298m <sup>3</sup>	10,397m <sup>3</sup>	9,952m <sup>3</sup>
再利用した水	3,795m <sup>3</sup>	4,824m <sup>3</sup>	4,359m <sup>3</sup>	3,667m <sup>3</sup>
再利用率	51.4%	42.7%	41.9%	36.8%

合計16,645m<sup>3</sup>

平均43.2%



## 脱炭素化に向けた「グリーン電力オプションサービス」の提供を開始

アット東京は2022年10月から、脱炭素化に向けた取り組みとして、再生可能エネルギー由来の環境価値を適用するサービスの提供を開始しました。

この「グリーン電力オプションサービス」では、当社データセンター※でご利用いただいている電力に再生可能エネルギー由来の環境価値を組み合わせ、実質的に二酸化炭素排出量ゼロの電気を使用することが可能となります。

さらに2023年4月から、当社データセンターのハウジングサービスおよびプレミアムラックコロケーションサービスで

使用する電力を、実質再生可能エネルギー100%に切り替えました。今後もアット東京は脱炭素化を実現するサービスの開発に取り組んでいきます。

※CC1,CC2,DC2,DC3のコロケーションサービス、ケーシングコロケーションサービスで提供



サーバーラックの様子



ケーシングコロケーションサービス

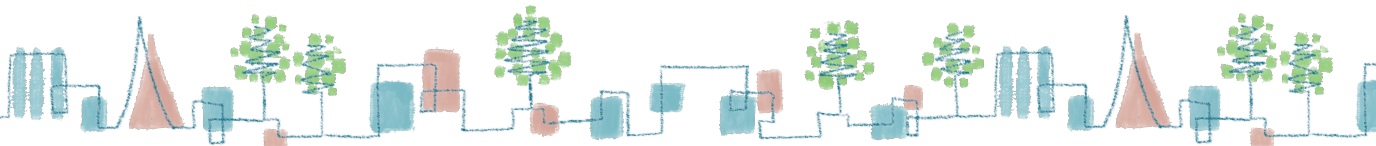
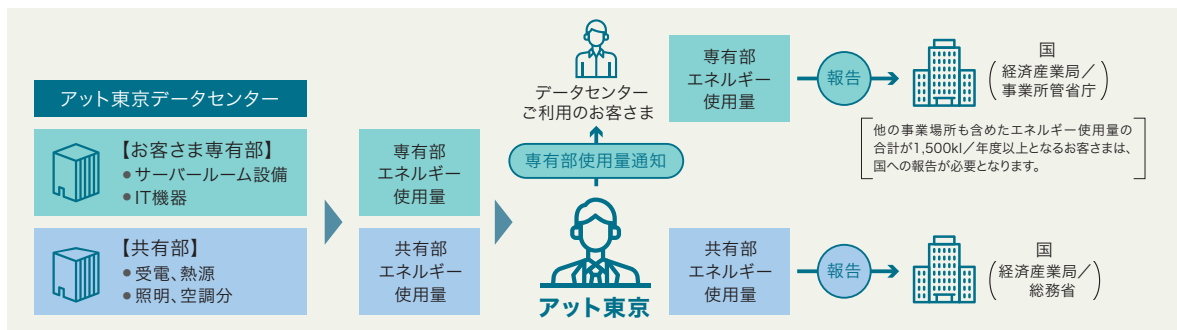
## 省エネ法改正(2022年度)に対応

以前の省エネ法の定期報告では、データセンター事業者がデータセンターのエネルギー使用量を報告していましたが、省エネ法改正(2022年度)により、今後はハウジングを除くサーバースペースで使用されたIT機器や、お客さまが使用される付帯設備(空調・照明など)、および事務所のエネルギー使用量は、お客さまが自社エネルギー使用量

としてご報告いただくルールとなりました。

この変化を見据え、かねてよりアット東京では、エネルギー使用量をお客さま単位で集計できるシステムの自社開発を推進してきました。その結果、2022年度分のお客さまへの個別報告は、7月の定期報告前の5月に円滑に行うことができました。

### 今後のエネルギー使用量報告方法





## アット東京「環境配慮型データセンター」の舞台裏

データセンター業界のリーディングカンパニーとして、24時間365日ノーダウンオペレーションを実現し、ニュートラルで柔軟な接続環境を誇るアット東京のデータセンター。そのアット東京にとっての「サステナビリティ」とは。脱炭素社会に向け、データセンターとしてできることから着実に、誠実に歩むメンバーたちの声をご紹介します。

### 省エネや環境への配慮と、高効率なデータセンター運営のために

日々膨大なエネルギーを消費するデータセンター事業者として、省エネや環境への配慮は欠かせません。2022年度、DC3は地球温暖化対策の推進の程度が特に優れた事業所として、東京都によるトップレベル事業所の認定を更新いたしました。従来より、誠実かつ地道に省エネの努力を続け、コロナ禍におけるリモートワークや交代勤務という状況の

中でも丁寧なコミュニケーションを意識して再認定申請の準備を進めた結果だと自負しております。わたしたちは今後もお客さまとともに、さらに高効率なデータセンターの運営を目指していきます。

技術・サービス本部 第3センター 設備グループ  
坂本 真吾



### 持続可能な脱炭素社会の実現に向けて、環境課題と真摯に向き合う

環境への配慮が大きな課題となっている現在、わたしたちデータセンター事業者、そして各企業の皆さまにおいても、持続可能な脱炭素社会の実現に向けた対策は急務であると考えています。そんな中、アット東京は再生可能エネルギー由来の環境価値を適用した「グリーン電力オプションサービス」の販売を2022年10月より開始し、す

に何社ものお客さまにご利用いただいております。わたしたちは、環境課題に真摯に向き合い、社会的責任を果たしたうえで、高品質で信頼性のあるデータセンターサービスを提供していきます。

技術・サービス本部 カスタマーサービス部  
小野 光弥



### 労働安全衛生の継続的な改善を通して、健康で安全な職場環境づくりを

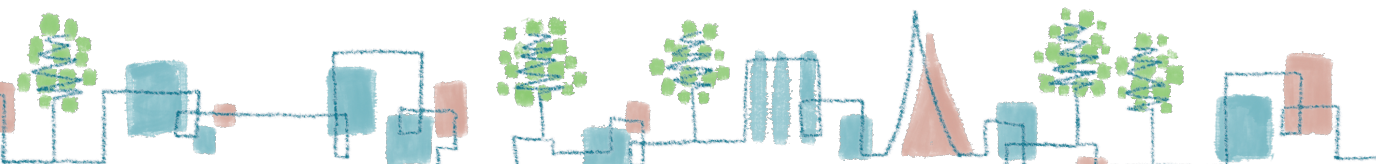
データセンター事業者として、24時間365日ノーダウンオペレーションを実現するためには、アット東京で働くすべての人の心身の健康と安全を守ることが重要です。そのために、グローバルかつ長期的な視点から、職場の労働安全衛生を継続的に改善していくことの必要性を実感しています。

アット東京は、ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)に対応した管理体制を構築し、運用を開始しており、これからも働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、安全・安心なデータセンターサービスを提供していきます。

企画本部 サステナビリティ推進部長  
小林 公知



アット東京は、これからも省エネルギーや環境に配慮し、さまざまな業界のお客さまの利便性を高め、お客さまにとって価値あるデータセンターとなることを目指します。



株式会社アット東京 <https://www.attokyo.co.jp/>  
東京都江東区豊洲5-6-36 TEL:03-6372-3500 FAX:03-6372-3009 Mail:at-sales@attokyo.co.jp

